

一年のはじまりに～希望をもち続け前に進む

副校長 田中 裕司

1月になり厳しい冷え込みの続く毎日ですが、七生の児童・生徒たちは毎朝元気に学校生活をおくっています。感染症がはやり始めていますので、体調管理に十分御留意ください。今学期は、進級・進学や卒業後の生活に向けた取り組みが多く予定されています。公共交通機関の利用方法を学習する乗車学習、卒業生の通う事業所等を見学する進路見学など、実際に体験することで社会生活の幅を広げたり、進路希望を考えることを目標としています。1月17日から19日は、高等部の入学願書の受付が行われました。新年度に向けた動きが本格的に始まりました。

令和6年元日の夕刻、能登半島を中心としたM7.6の地震が発生しました。被害の大きさや避難生活の厳しさには、想像を絶するものがあります。被災された方の中には、翌日から炊き出しを始めたり、家業のパン屋を再開されたりと、この状況にあってもできることに前向きに取り組む方々の姿も連日報道されています。学校は児童・生徒の命を預かるものとして、教職員一人一人が自立し臨機応変に行動できるよう、今できること、様々な事態を想定した準備と訓練を重ねてまいります。

現在アメリカメジャーリーグで活躍する大谷翔平選手から全国の小学校にグローブの寄付がありました。本校にも3つのジュニア用グローブが届きました。始業式で全校に紹介したあと、小学部の児童は実際に持ったり触ったりしました。グローブをはめた小学部の児童は目を輝かせ、希望に胸を膨らませていました。大谷選手のメッセージに「このグローブが次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。」という一文があります。



希望をもち続け、勇気をもって前に進んでいく、そんな一年にしていきたいものです。

学校間交流について

本校では、小学部は日野市立七生緑小学校・日野市立夢が丘小学校と同学年間の交流学习、中学部は日野市立日野第三中学校と同学年間の交流学习、高等部は東京都立日野高等学校と生徒会同士の交流学习を行っています。今年度は4年ぶりに全学年が直接顔を合わせ、場を共にした交流を実施しています。（これから実施の学年もあります。）小学部から毎年、継続して交流を積み重ねています。

中学部では、生徒による活動計画立案や当日の司会進行などの運営を目指しています。中学部2年生の交流では、日野第三中学校の生徒会が中心になって「ボール送り」と「各校の発表」を計画しました。ボール送りでは相手校のクラスの列の中に本校の生徒が入り、一緒に競技を行いました。その中で自然に生徒同士が言葉をかけ合い、成功したことに喜びハイタッチする姿がありました。また各校の発表では、相手校のドラム演奏の曲目が「アイドル」だったため、急遽本校の生徒がダンスで参加するという場面がありました。小学部からの継続した活動の中で生徒同士がつながり、一緒に学び考えているのだと改めて感じました。一回で終わる交流ではなく、児童・生徒の経験を深め、相互理解につながっていく学校間交流を推進させることが、学校を卒業した後も様々な人々と共に助け合って生きていく力となり、積極的な社会参加につながっていく力になると考えます。

(主幹教諭 松村美華)